

第7回日本メディカル AI 学会学術集会

－ 彰往考来・医知革新 －

(2025年6月27日・28日)

開催趣意書

第7回日本メディカル AI 学会学術集会

会長 奥野 恭史

京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授

第7回日本メディカル AI 学会学術集会開催にあたり 会長挨拶

謹啓

貴社におかれましては、時下ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は 日本メディカル AI 学会の活動に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、第7回日本メディカル AI 学会学術集会の大会長を務めさせていただくことになりました、京都大学大学院医学研究科の奥野恭史です。

本年度の学術集会は、2025年6月27日から28日の二日間にわたり、歴史と文化が薫る古都・京都(京都国際会館)にて開催する運びとなりました。皆様と直接お会いし、対話を通じて新たな知見や未来へのビジョンを共有できることを、大変楽しみにしております。

今回の学術集会のテーマは「彰往考来 医知革新」といたしました。彰往考来とは、過去の知識と経験をもとに未来を見据えるという深い意味を持ち、これはAIの意義そのものと重なります。医療分野におけるAI技術の進化は日進月歩であり、過去の研究成果をしっかりと理解・評価しつつ、未来の医療に繋がる新たな視点や可能性を探求することが求められます。AIは診断から治療、管理、予防まで医療プロセス全体を変革することが期待されていますが、その過程で生じる倫理的問題や個人情報保護の課題など、解決すべき課題も少なくありません。この学術集会では、AIと医療が融合した新たな領域に関する情報交換と知識の深化を図り、未来を見据えた議論を展開したいと考えております。今回の集会在皆様の研究活動や実践に新たな活力と展望をもたらし、医療 AI 研究のさらなる発展に寄与する場となることを願っております。

いわば今回の学術集会の舞台は、各々の知識を共有し、新たな視野を開く機会です。まさに彰往考来の精神で、過去から学びつつ、未来に目を向けた実り多き学術集会にしたいと考えております。

本学会が新しい知識やアイデアの発信源となるとともに、専門家間の交流の場として、参加者一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、成長するための土壌となることを期待しております。多様な分野からの皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

そこで、このような学会の内容を充実させ、その成果を大いなるものとするため、関係各位からのご協力を仰ぎ、ご支援を賜りたいと存じます。尚、本会は「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」において公開対象となっている「学術研究助成費」に係る情報を、標記ガイドラインに基づき日本製薬工業協会会員他、各社が公開することを承諾致します。貴社におかれましては、本学会開催の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、益々のご清栄を祈念申し上げます。

謹白

2024年11月吉日

第7回日本メディカル AI 学会学術集会
会長 奥野 恭史
京都大学 大学院医学研究科
ビッグデータ医科学分野 教授



第7回日本メディカル AI 学会学術集会 開催概要

- 1, 会議名称
第7回日本メディカル AI 学会学術集会
- 2, 主催機関の名称
一般社団法人日本メディカル AI 学会
住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
国立研究開発法人国立がん研究センター研究所・医療 AI 研究開発分野内
- 3, 学会開催日と会場
(1) 開催期間: 令和7年(2025年)6月27日(金)・28日(土)
(2) 開催会場: 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422
TEL 075-705-1205
(3) 対面による集会とし、ライブ配信、オンデマンド配信の予定はございません。
- 4, 会長
奥野 恭史 (京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授)
- 5, 学会の概要
(1) テーマ: 「彰往考来・医知革新」
(2) 内 容(予定)
特別講演・シンポジウム・パネルディスカッション・一般演題(口演・ポスター)・学会公認資格特別講義 等
【協賛行事】共催セミナー、商業展示会
(3) 学会ホームページ URL: <https://pac-mice.jp/jnai2025/>
(4) 参加予定者 約 1,000 人(会員数約 2,000 名)
(5) 参加対象者 医師、医療従事者、研究者、企業、学生等

特記: 日本製薬工業協会他、貴団体、貴社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社、貴団体と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を「学会名」「共催セミナー名」の通りに、貴社、貴団体のウェブサイト上に公開することに同意します。

6. 準備・運営体制

組織委員会

委員長

峰晴 陽平(京都大学大学院医学研究科 健康医療 AI 講座)

委員(五十音順)

荒牧 英治(奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科)

井元 清哉(東京大学医科学研究所)

岩田 浩明(鳥取大学医学部 生体制御学講座)

奥野 恭史(京都大学大学院医学研究科 ビッグデータ医科学)

鎌田 真由美(北里大学 未来工学部)

鎌谷 洋一郎(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

瀬々 潤(ヒューマノーム研究所/産業技術総合研究所人工知能研究センター)

園部 真也(東北大学 大学院医学系研究科 神経外科先端治療開発学分野)

玉田 嘉紀(弘前大学 健康・医療データサイエンス研究センター)

田宮 元(東北大学大学院医学系研究科/理化学研究所革新知能統合研究センター)

中津井 雅彦(山口大学 AI システム医学・医療研究教育センター)

浜本 隆二(国立がん研究センター研究所/理化学研究所革新知能統合研究センター)

山口 類(愛知県がんセンター/名古屋大学大学院医学系研究科)

山本 陽一朗(理化学研究所革新知能統合研究センター/東北大学大学院医学系研究科)

学術集会 会長

奥野 恭史(京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野)

学術集会 事務局長

峰晴 陽平(京都大学 大学院医学研究科 健康医療 AI 講座)

内野 詠一郎(京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学)

事務局

第7回日本メディカル AI 学会学術集会事務局

京都大学 大学院医学研究科 健康医療 AI 講座

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

運営事務局

第7回日本メディカル AI 学会学術集会 運営事務局

株式会社プロアクティブ

〒650-0034 神戸市中央区京町 83 番地 三宮センチュリービル 3 階

TEL: 078-954-5160 FAX:078-332-2506 E-mail: jmai2025@pacmice.jp

7. 一般社団法人日本メディカルAI学会 役員一覧 (2024年11月末現在)

	氏名	所属
代表理事	浜本 隆二	国立がん研究センター研究所/理化学研究所革新知能統合研究センター
理事	瀬々 潤	ヒューマノーム研究所/産業技術総合研究所人工知能研究センター
	井元 清哉	東京大学医科学研究所
	田宮 元	東北大学大学院医学系研究科/理化学研究所革新知能統合研究センター
	山本 陽一郎	理化学研究所革新知能統合研究センター/東北大学大学院医学系研究科
	山口 類	愛知県がんセンター/名古屋大学大学院医学系研究科
	鎌谷 洋一郎	東京大学大学院新領域創成科学研究科
特別顧問	間野 博行	国立がん研究センター研究所
顧問	石川 俊平	東京大学大学院医学系研究科
	大江 和彦	東京大学大学院医学系研究科
	大田 信行	Preferred Networks America, Inc.
	岡野原 大輔	株式会社 Preferred Networks
	奥野 恭史	京都大学大学院医学研究科
	栄藤 稔	大阪大学先導的学際研究機構
	落合 淳志	東京理科大学 生命医科学研究所
	落谷 孝広	東京医科大学
	陣崎 雅弘	慶應義塾大学医学部放射線科学教室
	鈴木 賢治	東京科学大学総合研究院
	杉山 将	東京大学大学院新領域創成科学研究科/理化学研究所革新知能統合研究センター
	辻井 潤一	産業技術総合研究所
	東條 有伸	東京科学大学総合研究院
	中田 典生	東京慈恵会医科大学附属病院
	西田 俊朗	地域医療機能推進機構大阪病院
	藤原 康弘	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 [PMDA]・理事長
	三原 直樹	広島大学病院 システム医療学・医療情報部
	宮野 悟	東京科学大学総合研究院 M&D データ科学センター
	山上 裕機	昭和大学 消化器・一般外科学部門 膝がん治療センター
	吉田 輝彦	国立がん研究センター中央病院
監事	板倉 陽一郎(弁護士)	

(代表理事1名 理事6名 顧問21名 監事1名)

7. 収支予算計画

収入の部

(単位:円、税込)

項目	備考	単価	数	合計
参加登録費	事前登録 会員	10,000	600	10,850,000
	事前登録 学生会員	3,000	30	
	事前登録 非会員	15,000	150	
	当日登録 会員	9,000	150	
	当日登録 学生会員	13,000	20	
	当日登録 非会員	18,000	50	
共催セミナー費	ランチョンセミナー(賛助)	1,100,000	2	3,300,000
	イブニングセミナー(賛助)	550,000	2	
企業展示出展費	医薬品・医療機器(賛助)	165,000	2	1,870,000
	医薬品・医療機器	220,000	7	
抄録集広告掲載費	表4 ページ(賛助)	143,000	1	737,000
	表2 表3 ページ(賛助)	99,000	2	
	後付け1 ページ	88,000	2	
	後付け1/2 ページ	55,000	4	
その他広告費	ホームページバナー(賛助)	77,000	2	154,000
寄附金		50,000	1	50,000
収入合計				16,961,000

支出の部

(単位:円、税込)

項目	備考	合計
事前準備費	事務局費、印刷費、製作費、ホームページ、演題登録、参加登録	4,300,000
会場費・会場設備費	国立京都国際会館利用費	5,200,000
当日運営人件費	受付、クローク、会場等係員、指揮者	1,400,000
当日運営映像機材費	会場内映写機材	2,970,000
看板・施工関連費	展示小間、ポスターパネル等	1,700,000
講師講演料・招聘旅費	非会員講師招聘費	500,000
関連行事費	参加者へのケータリング他	700,000
通信・郵送費実費	抄録、参加証、ポスター等発送費、電話、FAX	50,000
事後事務処理費	お礼状発送等、源泉徴収費等	141,000
支出合計		16,961,000